

事務事業名	《H23新規》食のセーフティネット創造事業(協働事業)		所属部局	保健福祉部		単位番号	2011- 5326				
	□ 実施計画事業		所属課室	福祉総合相談課		課長名	小林 千江				
			所属担当	地域福祉担当		担当者名	小林 徳男				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	01	一般	03	01	01	020	16	
施策	27	地域福祉の充実		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業						
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業				
			<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業							
			<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金	法令根拠							
			南アルプス市みんなであらゆる協働事業公募制度及提案制度実施要領								
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
	H21年度の市協働事業提制度において、NPO法人フードバンク山梨が提案し、採択された事業である。経済的な困窮者により食糧を確保することが出来ない市民に対し、食品業者から寄付された賞味期限内の規格外食品(食品ロス)や農家から寄付された安全な食品を無償で配布する等の仕組みを通して、食のセーフティネットを確立する。当面は、経済的な相談で市役所に来た市民、市内の障害者施設を中心に配布する。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
				その他負担金	200						
			計 200								

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績	フードバンク山梨からその都度、食品の提供を受け生活困窮者等に配布する。
	26年度活動予定	フードバンク山梨からその都度、食品の提供を受け生活困窮者等に配布する。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民・食品受領施設・食品提供企業	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	食品等の無償配布を受けることにより、受け取る市民は、命をつなぐことができる。提供した企業や市民は、地域福祉に貢献でき、心が豊かになる。又、捨てられていた食品ロス等が活用され、ゴミの減量化等にもつながる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	この事業を通して、地域福祉の理念である「ともに生き支えあう地域づくり」を実現する。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 食品受給者数	人
	イ 食品提供者数(企業等)	件
	ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 市民	人
	イ 食品企業数	件
	ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 無償配布を受けた人数	人
	イ 無償配布を受けた施設数	件
	ウ 食品提供者数(企業等)	件
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 生活困窮者支援の仕組みに満足している市民	%
	イ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	100	200	200	200	200	0	0
		事業費計(A)	千円	100	200	200	200	200	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	24	24	24	24	24		
		人件費計(B)	千円	109	109	109	109	109	0	0
		(A)+(B)	千円	209	309	309	309	309	0	0
		活動指標	人							
	対象指標	人	72,854.0	72,566.0	72,566.0	72,566.0	72,566.0			
	成果指標	人								
	上位成果指標	%								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H21年度の市協働事業提案制度における協働事業として採択され、H22年度からスタートし賛助事業としては、H23年度より実施した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	少子高齢化等が急速に進み行政だけでは解決できない問題が増えてきた。一方、市内には地域課題を主体的に解決していくNPOが増えてきた。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	市とNPOとののはじめての協働事業であり、お互いの立場の違いがあり難しいところもあるが、明確な役割分担等を通して、又話し合い等をし、より良い協働スタイルを確立して欲しい。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	H23年度新規事業のためなし
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	＜H23新規＞食のセーフティネット創造事業（協働事業）	所属部	保健福祉部	所属課	福祉総合相談課
-------	-----------------------------	-----	-------	-----	---------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市の地域福祉計画の中の基本理念でもある「ともに生き支えあう地域づくり」の施策に「食のセーフティネット事業」は貧困に陥ったときフードバンク山梨の食料支援と心の絆で孤立していた心のよりどころを作るという目的が意図として結びついて
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 フードバンク山梨は食糧の現物支給により生活を支えることで、生活保護への移行をくいじめ自立への手助けをしたいとの目的をもって活動しており、相応の負担をするのは、妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 生活困窮者を救済する対策として継続していくべき事業である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 ただ食料を支給するばかりでなく、支給していた人がどのようになったかを検証することでセーフティネットの成果を向上させることが出来る。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 いろいろな問題を抱えている生活困窮者は今後増加していく傾向にあり援助してもらう機会は増えると思われる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 食糧支援の団体は他にないので支援を休止することは出来ない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業費のすべてが賛助会費なので削減は厳しい。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 最小限の人件費であるため削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 事業の内容は特定団体となるが、その団体から受ける益は全住民対象となる。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	フードバンク山梨とは、必要に応じてケース共有をしている。相談にこられて場合は初回面接をおこない、3ヶ月後に再度面接を行い今後の支援方法を相談支援していくこととし、食糧支援と生活支援もおこなっている。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ⑫ コスト削減優先度評価結果 ⑥																					